



平成21年10月7日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 大 庄  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 平 辰  
(コード番号 9979 東証第1部)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 水 野 正 嗣  
(TEL 03-5764-2229)

## 特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社の平成21年8月期決算において、下記の通り特別損失の計上を行いますので、その概要をお知らせするとともに、平成21年8月期（平成20年9月1日～平成21年8月31日）の業績予想（連結・個別）を下記の通り修正いたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上

当社は、平成21年8月期において下記の通り特別損失の計上を行います。

##### (1) 個別

合計で1,419百万円の特別損失を計上いたします。詳細は下記の通りです。

①特別賞与 550百万円

→※本日、別途開示しております「店舗従業員に対する特別賞与の支払いについて」の資料をご参照下さい。

②投資有価証券評価損 312百万円

当社関係会社である米川水産(株)及び(株)エム・アイ・プランニングの株式について、監査法人と協議した結果、各々の財政状態や事業計画等を勘案し、当社取得価額と各々の純資産価額との評価差額について、株式評価損を計上いたします。

③固定資産除却損 182百万円

店舗改装等に伴う資産の除却・解体工事費用を計上いたします。

④減損損失 83百万円

最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗設備資産等の減損処理を計上いたします。

⑤店舗関係整理損 59百万円

店舗閉鎖等に伴う現状復帰工事費用等を計上いたします。

⑥その他 229百万円

##### (2) 連結

合計で1,170百万円の特別損失を計上いたします。詳細は下記の通りです。

①特別賞与 550百万円

上記の通り発生した特別賞与を計上いたします。

②固定資産除却損 182百万円

店舗改装等に伴う資産の除却・解体工事費用を計上いたします。

③減損損失 117百万円

最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗設備資産等の減損処理を計上いたします。

- ④店舗関係整理損 62百万円  
 店舗閉鎖等に伴う現状復帰工事費用等を計上いたします。
- ⑤その他 257百万円

## 2. 平成21年8月期（通期）の業績予想の修正

### （1）個別

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成21年7月13日発表）	71,900	550	1,100	250	12円12銭
今回修正予想（B）	71,500	281	815	△908	△43円84銭
増減額（B－A）	△400	△269	△285	△1,158	—
増減率（％）	△0.6	△48.9	△25.9	—	—
前期（平成20年8月期）実績	75,023	2,166	2,242	861	41円01銭

### （2）連結

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成21年7月13日発表）	87,200	950	1,500	400	19円39銭
今回修正予想（B）	86,867	579	1,111	△593	△28円62銭
増減額（B－A）	△333	△371	△389	△993	—
増減率（％）	△0.4	△39.1	△25.9	—	—
前期（平成20年8月期）実績	89,656	2,792	2,790	1,072	51円07銭

## 3. 修正の理由

### （1）個別業績予想の修正理由

当期におきましては、経済環境の悪化から個人消費が急激に冷え込み、外食業界では極めて厳しい状況が続きました。特に、1月以降は消費者の節約志向や低価格志向が急速に高まり、業界内でも低価格競争が激化しました。また、新型インフルエンザの流行や夏場の天候不順なども消費環境には少なからずマイナス要因となりました。

当社におきましては、宴会売上高についてはほぼ計画通りに推移したものの、その他一般の飲食売上上の減少に歯止めがかからない状況が続きました。特に、比較的高単価業態が多い当社店舗においては、低価格競争の影響はより大きなものとなりました。

このため、平成21年8月期累計の当社既存店売上は前年に比べて93.0%と大きく低迷する結果となりました。また、新規出店数につきましても、当初計画に比べて減少し、19店舗となりました。以上により、売上高は前回予想に比べて400百万円の減少となる見通しとなりました。

一方、利益面においては、売上原価率は低下したものの、売上高の減少により売上総利益額が減少したことが影響し、営業利益、経常利益とも、前回予想を下回る見通しとなりました。さらに、当期純利益については、上記に記載した通りの特別損失を計上したことも加わり、前回予想を下回る見通しとなりました。

(2) 連結業績予想の修正理由

連結売上高につきましては、グループ会社全体として飲食事業部門の売上が減少したことが大きく影響し、前回予想を下回る見通しであります。また、連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益につきましても、売上高減少の影響や特別損失の計上等により前回予想を下回る見通しとなりました。

なお、平成 21 年 8 月期の配当につきましては、当初の公表計画通り期末配当として 1 株当たり 11 円（通期では 21 円）を予定しております。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上